

## 研究科の3つのポリシー

### 1. ディプロマ・ポリシー 〈学位授与方針〉

- 生涯学習の基礎としての教育学、芸術学、心理学など幅広い人間科学的素養を身に付ける。【知識・理解】
- 今日の教育問題に対応しうる資質・能力を育成する観点から、生涯学習にかかわる高度な学識と指導力を身に付ける。【知識・理解】
- 具体的な生涯学習活動に関する指導理論と実践の関係についてより深く教育・研究を行う。【思考・判断】
- 人々の生涯学習の場や機会の時間的・空間的広がりがりや学習内容の深まり、学習要求の実現にとって障害となる要因に対応できるようにする。【関心・意欲・態度】
- 社会教育、学校教育等の教育臨床場面において専門的、指導的立場で対応できる能力を身に付ける。【技能・表現】

### 2. カリキュラム・ポリシー 〈教育課程編成方針〉

生涯学習学研究科では、修了認定・学位授与の方針に掲げる能力を修得させるために、以下の内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。

#### 【教育内容】

- 生涯学習の振興に資する専門職及び研究者育成の目的から、生涯学習学理論領域と生涯学習活動論領域の2つの領域から教育課程を編成している。
- 生涯学習学理論領域においては、教育学、芸術学、心理学、特別支援教育関連科目を配置し、生涯学習に関する基本的・専門的な教育・研究が可能となるようにしている。
- 生涯学習活動領域では、青少年から成人教育、運動スポーツ指導、美術・音楽指導の関連科目を配置している。

#### 【教育方法】

- 生涯学習場面での実践事例をもとに、理論と方法を活用できるように学修をすすめる。
- フィールドワークやグループ討論などのアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、主体的な学びをすすめる。
- 修士論文指導は、指導担当教員による個別指導のもと、1年次の研究題目発表会、2年次の中間発表会、そして最終の修士論文発表会へと継続・発展的にすすめる。

#### 【教育評価】

- 成績評価についてはシラバスに明示し、提出課題の水準と意欲・態度を総合的に判断して行う。
- 修士論文の評価は、主査、副査（2名）による口頭試問及び修士論文発表会での質疑応答も評価対象とし精査する。

### 3. アドミッション・ポリシー 〈入学者受入方針〉

- 生涯学習機関、団体、行政、企業等で生涯学習の振興に関する指導的役割を果たせるような高度で柔軟な実践的、臨床的、研究的知識と企画力を併せ持つ専門職を目指す人。
- 学校教育、社会教育、矯正教育、教護施設等の各種専門職と連携し、幅広く活躍できる学校心理士を目指す人。
- リカレント学習、教職専修免許状取得を目指す人。

## … アクセス …

**所在地** 〒069-8511  
北海道江別市文京台 23 番地

**TEL** (011) 386-8011 (代表)

**FAX** (011) 387-1542

**URL** www.hokusho-u.ac.jp

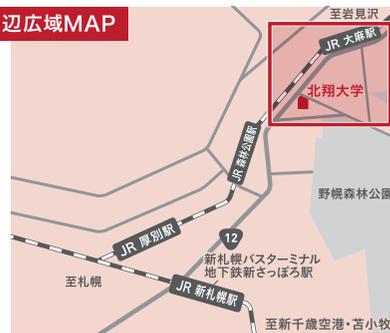
北翔大学  
ホームページ  
アクセスガイド



**バス** 新札幌バスターミナルから  
北翔大学・札幌学院大前 下車 徒歩 3 分

**JR** 大麻駅から徒歩 15 分

#### 大学周辺広域MAP



#### 大学周辺MAP



## … 入試情報 …

試験日等はアドミッションセンターまで  
お問い合わせください

#### アドミッションセンター

**TEL** (011)387-3906 (直通) **FAX** (011)387-3739

**e-mail** info@hokusho-u.ac.jp

# 北翔大学 大学院 生涯学習学 研究科

## 研究科の8つのメリット

### 1. キャリアアップに!

修士(生涯学習学)の学位を取得し、キャリアアップにつなげることができます。

### 2. 専修免許状を取得!

幼稚園・小学校、中学校・高等学校の音楽と美術、さらに特別支援学校の専修免許状の取得が可能です(教育職員一種免許状を有する方)

### 3. 学校心理士の受験資格を取得!

一般社団法人学校心理士認定運営機構の「学校心理士の受験資格(実務経験1年)」を得ることができます。

### 4. アットホームな少人数制!

大学院の授業は少人数制で展開し、研究テーマは自身の問題意識に合わせて選択できます。

### 5. 現場に即した能力を!

地域や学校教育等の場において、専門的・指導的立場で生涯学習を企画・立案・推進できる能力を身につけられます。

### 6. 同額での長期履修も可!

標準の修業年限は2年間ですが、社会人学生のニーズに合わせて、長期履修生3年または4年(授業料総額は同額)の修学期間も可能です。

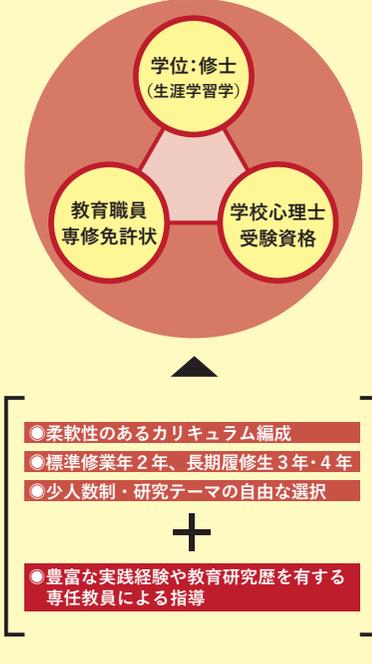
### 7. 自由度の高い履修方法!

柔軟性のあるカリキュラム編成と指導を行っており、複数年次開講や集中講義科目を配置し、履修期間に自由度を持たせています。これまで多くの社会人入学生が本研究科を修了し、教育機関等で活躍しています。

### 8. 幅広い研究活動!

特別支援教育や初等教育・幼児教育、教育行政、スクールカウンセリングの分野や、美術・舞台芸術・メディアデザイン・建築デザイン等の豊富な実践経験や教育研究歴を有する専任教員が多くおり、幅広く総合的に教育研究活動を支援します。

### 生涯学習の振興を担う高度な学識と指導力を持つ専門家を育成



## 免許資格と進路

生涯学習にかかわる高度な学識と指導力を身につけた修了生たちは、社会教育、学校教育等の教育臨床場面において専門的、指導的立場で様々な能力を発揮して活躍しています。

### 取得できる免許・資格

- 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭専修免許状

幼稚園、小学校、中学校(美術・音楽)、高等学校(美術・音楽)、特別支援学校(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)の各教諭一種免許状を有している方は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に規定された科目を修得することにより、それぞれ当該免許状の専修免許状を取得することができます。

- 「学校心理士」受験資格(実務経験1年)

学校心理士は、各学校において知的障害や学習障害、学業不振や学校不適応、不登校やいじめなど、学校を取り巻く病理現象とその対応の仕方について正しく理解を持ち、専門的知見のある人です。今日、各学校においては、スクールカウンセラーの配置が計画化されており、その業務について十分対応できる資格です。また、今日の教育現場においては、現職の教職員に必要とされている資格であり、特に北海道においては、学校心理士の養成が急務とされています。

### 取得学位

- 修士(生涯学習学)の授与

本修士課程の修了要件は、本大学院の修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、当該研究科の行う修士論文の審査及び試験に合格することです。そして、修士号の学位をこの要件を満たした方に、学長が授与します。

### 主な進学・就職先(過去10年間)

- 大学教員……………3名
- 特別支援学校教諭……………4名
- 幼稚園教諭……………1名
- 小学校教諭(臨時含む)……………3名
- 中学校教諭(臨時含む)……………3名
- 高等学校教諭(臨時含む)……………2名
- 専門学校教員……………5名
- 市町村職員……………3名
- 財団法人職員……………1名
- 福祉施設職員……………1名
- 大学事務職員……………2名
- 研究所……………1名
- 一般企業……………13名
- 大学院博士課程……………2名
- 大学院研究生……………3名
- 進学(他)……………3名
- 他(作家、起業)……………3名

### 多様な進路

- 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭
- 児童養護施設職員 ●児童自立支援施設職員
- 家庭裁判所調査官 ●スクールカウンセラー(学校心理士資格取得)
- 生涯学習関連施設でのインストラクター
- 医療・福祉施設での健康運動指導者
- 公的・民間研究機関の研究者
- 博物館、美術館などの学芸員
- 公民館・図書館等職員・研究機関研究職
- 大学・短期大学又は専門学校の教員、職員
- 大学院博士課程進学、留学

## カリキュラム

生涯学習場面での実践事例をもとに、理論と方法を活用できるように学修をすすめます。また、フィールドワークやグループ討論などのアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、主体的な学びをすすめます。

(2019年度参考)

領域	1年次・2年次		
生涯学習理論領域	【教育学関連科目】	【心理学関連科目】	【特別支援教育関連科目】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習学特論</li> <li>●生涯学習行政特論</li> <li>●生涯学習環境特論</li> <li>●生涯学習計画特論</li> <li>●生涯学習支援システム論特別演習</li> <li>●生涯学習評価特論</li> <li>●生涯学習メディア特論</li> <li>●教育学特論</li> <li>●教育指導特論</li> <li>●道徳教育研究特論</li> <li>●教育制度特論</li> <li>●生涯学習行政論特別演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育心理学特論</li> <li>●学校心理学特論</li> <li>●臨床心理学特論</li> <li>●生涯発達心理学特論</li> <li>●心理検査特別演習Ⅰ</li> <li>●心理検査特別演習Ⅱ</li> <li>●学校心理学特別演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援教育特論</li> <li>●障害者心理学特論</li> <li>●障害者心理学特別演習</li> </ul>
生涯学習活動論領域	【青少年・成人教育関連科目】	【生涯スポーツ関連科目】	【美術・音楽指導関連科目】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習施設運営特論</li> <li>●高齢者学習特論</li> <li>●継続学習活動特別演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯スポーツ特論</li> <li>●生涯スポーツ特別演習(運動指導)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯美術特論</li> <li>●美術鑑賞特論</li> <li>●生涯美術指導特論</li> <li>●生涯音楽指導特論</li> <li>●生涯学習活動特別演習(絵画、彫刻、自然科学)</li> <li>●生涯学習音楽指導特別演習(演奏指導)</li> </ul>
教職に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育史特論 ●教育経営特論 ●教育方法特論 ●教職研究特論 ●教育課程研究特論 ●キャリアガイダンス特論 ●保育原理特論</li> <li>●特別支援教育コーディネーター特論 ●知的障害者指導特論 ●肢体不自由者指導特論 ●重複障害者指導特論</li> <li>●発達障害者指導特論 ●特別支援コーディネーター実践論 ●知的障害者指導特別演習 ●肢体不自由者指導特別演習 ●病弱教育研究</li> </ul>		
研究指導(修士論文)	●生涯学習特別研究Ⅰ		●生涯学習特別研究Ⅱ

学長・研究科長 挨拶

Yamaya Keizaburo  
**山谷 敬三郎**



北翔大学 学長

本研究科は、2004年（平成16年）4月に、様々な年齢の人々が様々な機会を通して、人生に潤いと生きがいを得るために行う生涯学習を支援する高度な専門職を養成することをねらいとして誕生しました。現在まで、大学や専門学校、公立学校の教員、行政や専門的な分野でのエキスパートを社会に送り出してきました。本研究科の特徴は、幼稚園・小学校、そして、中学校・高等学校の音楽と美術、さらに特別支援学校の専修免許状の取得が可能であるとともに、一般社団法人学校心理士認定運営機構の「学校心理士」の受験資格を得ることができることです。

社会は、これまで蓄えた知識だけでは対応できない大きな変革の中にあります。生涯学習はそうした課題に対応するための概念であり、機能でもあります。ともに研究、学習を深めませんか。



Komuro Haruhi  
**小室 晴陽**

大学院生涯学習学研究科  
 研究科長

学校教育、社会教育、美術・芸術などの研究分野をそれぞれのテーマで楽しみ深めながら、新しい「生涯学習学」の構築や実践に参加しませんか。生涯学習の基盤である教育学、芸術学、心理学などの幅広い人間科学的な素養の上に、具体的な学習活動に関する理論と実践に関わる教育研究やさらには、社会教育・学校教育等の教育臨床現場における専門的で指導的な立場で対応する能力を身につけるための教育研究を深めていくことができます。

本研究科の教授陣には、初等教育・幼児教育・特別支援教育、教育行政、スクールカウンセリングなどの分野での豊富な実践経験や研究活動を有する専門家や、美術・舞台芸術・メディアデザイン・建築デザインなどの分野を専門とする教育研究者がいます。広く総合的な生涯学習の理論と実践の探求を行うことができるのが本研究科の特色です。

教員紹介

各分野の専門家である専任教員の中から6人のメッセージを掲載します。



教授  
**石川 大**

Ishikawa Dai

担当科目

特別支援教育特論など

生涯学習学研究科では、特別支援学校教諭専修免許状を取得することができます。障害のある幼児・児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを適切に把握する方法等を学んだり、生活や学習上の困難を改善又は克服するために必要な指導・支援の在り方について、講義形式だけでなく、文献調査・現地視察等を行うなど、より具体的、実践的な学びを深める活動に積極的に取り組んでいます。



教授  
**林 亨**

Hayashi Toru

担当科目

生涯美術特論など

本研究科の基盤になる学問領域は教育学、芸術学、心理学ですが、いずれか一つに軸足を置いた研究はもちろんのこと、三つの領域を融合した新しい学問をデザインすることができます。美術関係の研究では、これまで、作品制作研究をはじめ、美術教育や美術の普及活動、美術と心理学の関係など、三つの学問領域に関連する研究が行われてきました。機能的で広い院生研究室や制作スタジオ、22万冊以上の蔵書を誇る図書館など、充実した研究環境の中で皆さんの可能性が開くようサポートします。



准教授  
**三浦 公裕**

Miura Kimihiro

担当科目

学校心理学特論

本研究科では「学校心理士」の受験資格が取得できます。学校心理士は、不登校やいじめ、子どもの貧困や虐待など教育現場のさまざまな問題に、学校心理学の専門的な知識と技能をもって、心理教育的援助サービスを行います。現在4千人を超える学校心理士が、全国の教育機関等で活躍し、研修会やボランティア活動をとおりて研鑽しあっています。私も学校心理士の一人として、皆さんと共に学校心理学の可能性について学びたいと願っています。



教授  
**千里 政文**

Chisato Masafumi

担当科目

生涯学習環境特論など

今日の日本は世界に類を見ないスピードで少子高齢社会を迎える中、「一生涯を通して学び続けたい」というニーズも増えています。本学の大学院生には、北翔大学や他校卒業生はもとより、教育・医療・福祉・芸術・建築等の第一線で活躍している方、幅広い年齢の方がおり、専門分野を超えて、多様な交流と学びがもたれています。更に院生同士や教員との仲が良いのも特徴で、共に学びあい、究めてゆく環境が整っています。



准教授  
**伏見 千悦子**

Fushimi Chieko

担当科目

保育原理特論など

生涯学習の意義は、生涯の様々な場面において学習機会を得て、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることです。本研究科では生涯学習の振興を担う専門家の育成を目指しており、幅広い分野において理論のみならず、学内外での実践を通して学びを深めることができます。在籍する院生たちは、意欲に溢れる学部からの入学生のほか、企業や教育現場で活躍している社会人も多く、交流し合い、高め合う姿が印象的です。



専任講師  
**石塚 誠之**

Ishizuka Masayuki

担当科目

知的障害者指導特論など

生涯学習学研究科には、様々な専門分野の教員が所属しており、多面的に院生の教育・研究を支える体制ができています。また、現代社会における子どもの発達・教育について特別支援教育や心理学の視点から研究することができることも特徴の一つといえます。学内の実習の場としては、心理検査や発達障害のある児童の指導を実践する環境が整っており、現場で即活躍できる専門家の育成を目指しています。これまで、大学院在学中に自身のNPOを設立したOB・OGもいました。あなたも是非、本研究科で自身の夢を叶えてください。

… 講義の様子 …

特論科目の講義は、ディスカッションを主としながら、様々な人との意見交換を通して本質的な学びや理解・認識を高めることを重視しています。プロジェクターを使用したプレゼンテーションやポスター発表、レジメの作成など、修了後も活かせるような講義内容となっています。また、講義科目に関連した特別演習科目は、専門性を深めるため、フィールドワークや制作研究などを行い実践的に学びます。そして、その学びを活かしながら、2年間のまとめの研究として、自ら設定した研究テーマに沿った修士論文としてまとめていきます。

●生涯学習特別研究II



修士論文の具体的な執筆に向けて、研究計画の作成や既往研究の講読、研究テーマに即した調査・分析・考察に関する指導を受けつつ、研究内容を深めていきます。また、それぞれの研究内容について、大学院生相互にディスカッションすることもあります。

●発達障害者指導特論



発達障害に伴う特徴や学習上の問題、二次障害、不登校、家族支援などについて理解を深め、本学の臨床心理センターを活用しながら実践的に学んでいきます。

●生涯学習活動特別演習（絵画）



生涯学習活動における美術分野のうち、絵画制作研究を行う演習科目です。美術に関しては、特定の課題として制作研究を修士論文に含めることができます。

●修士論文最終発表会



修士論文最終発表会は、毎年2月に本学学長をはじめ専任教員、非常勤講師、修士・学部学生、関係する学外研究者等の参加のもと開催されます。修了生の研究成果は学外の研究機関でも発表されています。

… 論文題目例（過去3年の主なもの） …

- 教育におけるユニバーサルデザイン  
～特別支援教育が特別になりすぎないために～
- 障害者グループホームのバリアフリー化に関する研究  
～高齢者グループホームとの比較から～
- 動的・創造的な音楽活動の可能性  
～自閉症スペクトラム児童のコミュニケーション能力の促進を中心に～
- アートプロジェクトと生活景の関係性について  
～中之条ビエンナーレを事例とした一考察～
- 要支援、要介護における住宅環境改善に関する研究  
～積雪寒冷地域について～
- 教育介入の段階的モデル（RTI）の可能性に関する研究  
～就学早期の新たな支援モデルに関する考察～
- 組織における信頼感についての一考察  
～ヒューマンエラーを防ぐ手立てのあり方～
- 学校不適応問題に対する教師の適切な関与について  
～対話的手法を用いて～
- 日本の企業におけるユニバーサルデザインについての研究  
～国際ユニバーサルデザイン協議会加盟の企業を中心として～
- 知的高等養護（支援）学校のキャリア教育に関する研究  
～発達障害者の就労・職業自立への取組～
- 読字に特異な困難を示した児童の読字指導の検討  
～音韻意識の改善と、読みの流暢性の関連について～

奨学金制度を活用しよう！

活用できる  
奨学金制度

- 入学時特待奨学生
- 淑萃会奨学生
- 日本学生支援機構  
(日本育英会奨学金)

社会人特別選抜入学制度について

- 入学金が免除になります。
- 授業料および施設設備費については半額となります。

… 在学生メッセージ …



生涯学習研究科 修士2年次

永野 晴基 Nagano Haruki

私は学部で学んだ建築における福祉住環境に関する専門領域を深めるため、大学院に進学しました。この研究科は、幅広い分野を学ぶことができるので、自身の専門領域を広い視点で考えることができます。また、大学院は院生同士や教員との距離が近いので、講義だけではなく日常生活も交流しやすい環境となっています。



生涯学習研究科 修士2年次

唐牛 拓郎 Karaushi Takuro

私の研究テーマは、「健康と運動」です。生涯にわたるスポーツに親しむという視点も含め「健康」には教育や職業、食など様々な要素の知識が必要と考え生涯学習研究科に社会人入学しました。幅広い年代の院生、各ジャンルの専門の先生と、一方的でなく相互の意見を尊重し合いながら学び、毎日新鮮で刺激のある生活を送れることが自分の成長になっていると実感しています。

… 研究科 OG・OB会 …



2019年4月に、生涯学習研究科の同窓会(OG・OB会)を立ち上げました。約90名にのぼる卒業生連の仕事は、特別支援学校や幼小中等学校、短大・大学の教員、スクールカウンセラーや公務員、福祉関係、アーティスト、障害者スポーツや芸術活動の普及や推進に携わるなど多彩です。「生涯学習学」は、教育、芸術、心理、福祉、スポーツなどの専門分野を学びながら、一生涯に渡る人間の発達を理解し探求する学問です。現職の教員時代に入学した私の同期は全員が働きながら学んでいました。年齢も20歳代から60歳代まで様々です。各々が自分の生き方の中で生じた疑問や深めたい学びに焦点を当てて研究していました。各々の持ち味を生かし、社会に貢献する人材となっていくことが、私たちの大きな使命であると感じています。

北翔大学大学院生涯学習研究科 OG・OB 会代表 亀山比佐